

森林の整備によって創出された
森林由来J-クレジット

三重の 自然由来 カーボンクレジット のご紹介

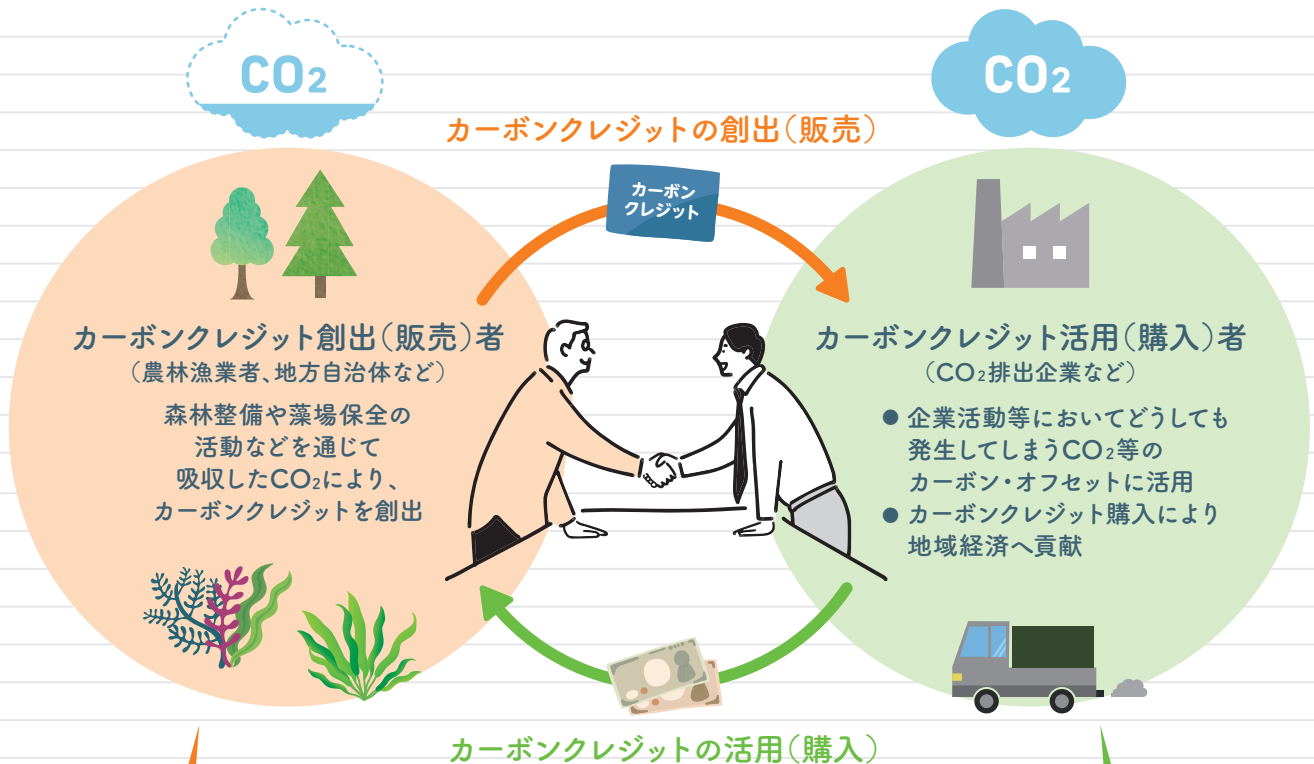
～CO₂吸収量の取引(創出・活用)を始めませんか～

藻場の管理によって創出された
ブルーカーボンクレジット

三重の自然由来カーボンクレジットとは？

森林・藻場などの整備や管理によるCO₂吸収量を政府や第三者機関が
認証したカーボンクレジットのうち、三重県内において創出されたもの。

2050年ネット・ゼロの実現をめざす上で、
カーボンクレジットの創出や活用が必要です。



取引による資金は、カーボン・オフセットに活用されるだけでなく、
生物多様性の保全(ネイチャー・ポジティブ)などの副次的効果があり、
資金の循環により環境、経済、地域の好循環を実現

カーボンクレジット創出(販売)者

メリット

- カーボンクレジットの売却による新たな収入
- 農林漁業の振興や雇用創出による地域活性化
- カーボンクレジット創出活動による生態系の保全

カーボンクレジット活用(購入)者

メリット

- 環境貢献企業としてのPR効果、企業評価の向上
- 製品・サービスの差別化・ブランディング
- 地元のカーボンクレジットを活用することで、地産地消による地域活性化を後押し

創出者・活用者ともに、カーボンクレジットの取引による
新たなビジネス機会の獲得やネットワーク構築が期待できます。

三重の自然由来カーボンクレジットの創出(販売)や活用(購入)に
関心のある方は、ぜひご検討ください

三重の自然由来カーボンクレジットは このように活用(購入)されています!

森林由来J-クレジットの活用(購入)事例紹介

事業活動で排出するCO₂を オフセットするだけでなく、 地元の森林整備にも貢献

株式会社百五銀行では、松阪市が同市内の森林整備で創出した森林由来J-クレジットを購入(令和6年度:70t-CO₂)し、百五銀行グループが松阪市内の事業所等9拠点で排出したCO₂排出量相当として自主的な企業活動のカーボン・オフセットに活用しました。

地元で創出された森林由来J-クレジットを活用することにより、カーボン・オフセットだけでなく、地元の森林管理・整備の促進に貢献できるというCO₂の地産地消の好循環を生み出しています。



ブルーカーボンクレジットの活用(購入)事例紹介

花火イベントのCO₂排出オフセットと、 藻場保全活動への貢献を同時に実現

海に面した観光地である鳥羽市では、鳥羽旅館事業協同組合が、宿泊客向けの夏の恒例イベントとして「夏の鳥羽湾毎夜連続花火」を実施しています。

同組合では、観光振興と環境配慮の両立を図る取組として、花火イベントに伴い排出されるCO₂のオフセットについて検討を進めてきました。

その過程において、鳥羽市内の旅館業は地域の海産資源の恩恵を受けて営んでいることから、地元の藻場保全活動によって創出されたブルーカーボンクレジットを活用することで、カーボン・オフセットと環境保全活動への資金提供による地域への貢献を同時に実現できると考えました。

そこで、鳥羽磯部漁業協同組合等が実施する「鳥羽港周辺海域の漁業と観光業連携による海女文化・地域振興に資するBCプロジェクト」により創出されたJブルークレジット®を購入し、花火イベントで排出したCO₂の一部をオフセットしています。



三重の自然由来カーボンプレジットの創出者を紹介します！

ブルー
カーボン
クレジット

NPO法人SEA藻

三重県熊野灘における藻場再生・維持活動



創出者情報

創出者名(代表申請者)：NPO法人SEA藻
 TEL：052-715-4417 E-mail：seamo@suzuki-diving.co.jp
 URL：https://suzuki-diving.co.jp/seamo.html
 共同申請者/実施者：南伊勢町、紀北町、株式会社paramita、
 三重外湾漁業協同組合、三重大学藻類学研究室、鳥羽市水産研究所

カーボンプレジット概要

カーボンプレジットの種類：Jブルークレジット®(対象生態系：海藻)
 プロジェクト期間：平成27年4月から(Jブルークレジット®は平成29年5月21日から)
 創出したクレジットの総量：171.1t-CO₂(令和8年3月時点)

創出したカーボンプレジットの紹介

- NPO法人SEA藻は南伊勢町、紀北町、三重外湾漁業協同組合、三重大学藻類学研究室、鳥羽市水産研究所と協同で平成27年からウニ類(ガンガゼ)の駆除活動を実施してきました。
- 本プロジェクトの対象としている三重県熊野灘海域において、ウニ類(ガンガゼ)を駆除することで海藻が増加すると報告(倉島ら、平成26年)された手法を用い、最も効果的なスキューバダイビングによる駆除活動を継続して行ってきました。活動は一般ダイバー、三重大学ダイビングサークル、愛知県立三谷水産高等学校生等のボランティアダイバーの力を借りて実施してきました。その他、海藻の種を出す母藻の設置や芽(種苗)の取り付けを行ってきました。
- 藻場を維持するためには徹底した駆除及び継続の必要があると考えています。ボランティアダイバーの参加費を通常のダイビングツアーと比較して低価格に設定して参加しやすくしており、掛かる経費(器材レンタル費や保険料、交通費等)を民間団体からの助成金等で賄っていますが、目に触れる機会の少ない海洋環境の保全への助成は限られているのが現状です。カーボンプレジットの販売により、外部の助成金等に拠らない持続可能な活動資金を得ることを目指しています。

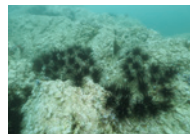
取組状況

平成27～令和7年度(11年間)
 対象地域におけるガンガゼの駆除数：約200万個体

創出地域



駆除活動の状況



ガンガゼによる磯焼け



回復した藻場



アオリイカの卵

カーボンプレジットの活用を検討されている方へ

海洋に直接かかわる事業を行っている企業のほか、間接的にもかかわっているまたは、現在全く海とかかわりのない企業にも広く海洋環境について関心を持っていただく機会にさせていただければと考えています。

ブルー
カーボン
クレジット

JF鳥羽磯部漁業協同組合

鳥羽港周辺海域の漁業と観光業連携による海女文化・地域振興に資するブルーカーボンプロジェクト



創出者情報

創出者名：JF鳥羽磯部漁業協同組合 連絡先：戦略企画室
 TEL：0599-25-0080 E-mail：kikaku@tobaisobe.jf-net.ne.jp
 URL：https://jf-tiss.net/new.html?id=pageLink02

カーボンプレジット概要

カーボンプレジットの種類：Jブルークレジット®(対象生態系：海藻)
 プロジェクト期間：平成30年5月1日から
 創出したクレジットの総量：71.6t-CO₂(令和8年3月時点)

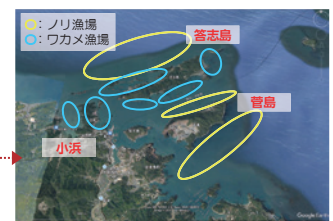
創出したカーボンプレジットの紹介

- 近年、海水温の上昇や海の栄養不足により、養殖のノリ、ワカメの生産が不安定となり、特にノリでは「色落ち」という現象で商品化できずに廃棄せざるを得ないケースもあります。食品用途以外に、何か価値を見出せないかと頭を悩ませていたところ、このブルーカーボンに辿り着きました。
- 私たちは藻類養殖(ノリ・ワカメ)を対象としてプロジェクトを立ち上げ、ノリ・ワカメ養殖の生産量拡大によるCO₂吸収量をクレジット化し養殖業による創出者として新たな可能性にチャレンジしています。
- クレジット購入企業様には、現地交流等を通じて、海洋環境学習、さらに鳥羽のノリやワカメの美味しさを味わってもらい、地域の食文化などを学んでもらうプログラムを用意しています。このプロジェクトは、単にクレジット取引だけを目的とせず、企業様との様々な交流を通じて「海・自然・文化」と「人」との好循環を目指しています。

取組状況

令和5年3月：プロジェクト立ち上げに向けた準備開始
 令和6年1～2月：JBEにプロジェクト認証申請、JBEより71.6t-CO₂創出の認証
 令和7年2月：鳥羽市内の幼稚園、小・中学校に「ブルーカーボン海苔」の寄付(食育)
 令和7年4月：現地交流会(ワカメ刈り体験、環境学習会など/答志島)
 令和7年11月：魚による食害対策(防網設置、クロダイ駆除(一部県補助)など)

創出地域



ノリ摘採風景



ノリ養殖漁場(答志島) R7年4月・現地交流会の様子(ワカメ刈り・環境学習会)

カーボンプレジットの活用を検討されている方へ

日本の食糧供給を支える一次産業は、環境変化や後継者不足などにより、生産力の減退が危惧されています。私たちは、食のプロダクターとして、国民に食糧の安定供給を目指し、さらに海の環境保全や食文化の継承、食育活動などと真摯に向き合っています。クレジットの取引を通じて得られた資金は、藻類養殖の振興発展のための技術開発(食害対策、色落ち対策など)や環境教育、食育活動などに充てさせていただいております。ぜひ私たちのプロジェクトにご賛同いただき、三重県鳥羽市から一次産業、食、教育を考え、「日本の漁業」を応援し、支えていただければ幸いです。

三重外湾漁協あおさ養殖BC委員会

豊饒な伊勢志摩における環境配慮型
「あおさのり養殖」の未来に向けて



創出者情報

創出者名：三重外湾漁協あおさ養殖BC委員会
連絡先：三重外湾漁業協同組合指導課 TEL：0596-72-3013
E-mail：t-uemura@miegaiwan.or.jp
URL：http://miegaiwan.or.jp/

カーボンクレジット概要

カーボンクレジットの種類：Jブルークレジット®（対象生態系：海藻）
プロジェクト期間：平成30年7月1日から
創出したクレジットの総量：25.5t-CO₂（令和8年3月時点）

創出したカーボンクレジットの紹介

- あおさのり（ヒトエグサ）養殖は、生産過程でCO₂を排出する人工的な種付けは行わず、海苔の成長と共にCO₂を吸収・固定するだけでなく、収穫時には海苔網に付着する海洋ゴミも一緒に回収することで海洋環境に優しい養殖事業となっております。本プロジェクトでは、魚による食害を防ぐネットの設置により、あおさのりの生産量・CO₂吸収量を増加しクレジット化しています。
- 三重県はあおさのりのシェア割合6割を占めるほどのあおさのり生産量を誇っているが近年の高水温や漁場環境の変化によって生産量が激減したため、この事業をきっかけにあおさのり養殖に活気を取り戻したい。

取組状況

令和3年7月～令和5年6月：食害ネットの設置
令和6年11月：クレジット購入企業を対象に招いた地元交流会・表彰式
令和7年10月～令和8年1月：地元小中学校・保育園での学校給食へあおさ海苔の提供・食育の推進
令和7年12月：地元中学校であおさ養殖漁業者による出張授業の実施

創出地域



カーボンクレジットの活用を検討されている方へ

この事業では、あおさのり養殖を知ってもらうために購入企業との交流会や地元小中学校へのあおさのり食育授業などの取組みを行い、地域の活性化を図るだけでなく、都市部でのPR活動などにより、あおさのりを周知することで需要をあげ、地元をあおさのり養殖業者が安心して生産できるような効果を期待して活動を行っています。

松阪漁業協同組合

海を守り育てる松阪漁協のブルーカーボンプロジェクト



創出者情報

創出者名：松阪漁業協同組合、(有)ダイビングテクノ
連絡先：松阪漁協 TEL：0598-51-2382
E-mail：jfmatsusaka-tom@onyx.ocn.ne.jp
URL：https://www.blueeconomy.jp/wp-content/uploads/jbc2025/2/shinsei/286/286-gaiyou.pdf

カーボンクレジット概要

カーボンクレジットの種類：Jブルークレジット®（対象生態系：海藻）
プロジェクト期間：平成26年9月から（Jブルークレジット®は令和6年6月10日から）
創出したクレジットの総量：177.4t-CO₂（令和8年3月時点）

創出したカーボンクレジットの紹介

- 松阪漁業協同組合では、平成26年9月からアサリの資源保護を目的に共同漁業権内の漁獲を制限したことからプロジェクトを開始しました。遊漁者への制限も平成26年4月から始め、令和3年1月1日からは一般の遊漁者による潮干狩りを全面禁止とし漁場を保護する活動を継続しています。
- また、令和5年9月から漁業権の対象にアマモを追加しました。漁業権の対象とすることでアマモを適切に管理し、むやみな刈り取りを行わないようにしています。
- 近年、気候変動等により様々な漁獲量が減少しています。アマモの適切な管理・保全により拡大したCO₂吸収量をクレジット化したJブルークレジット®取得による資金を本地域における漁場改善や新たな漁場の改良・創出を図るために活用することで、同じ漁場内に生育するアマモ場を保全することに繋がり、これにより気候変動対策を行っていきます。

取組状況

平成26年9月：プロジェクト開始
令和6年8月：鳥羽水族館によるアマモ採取
令和7年5月：鳥羽水族館によるアマモ採取
令和7年5月：鳥羽市立海の博物館による海洋学習、アマモ花枝採取
令和7年12月：令和7年度 第2回Jブルークレジット®認証・発行（177.4t-CO₂）

創出地域



アマモの播種活動



アマモの繁茂状況



松名瀬のアマモを
食べるジュゴン
写真提供：鳥羽水族館

カーボンクレジットの活用を検討されている方へ

本地域のアマモは、アマモの保全活動を行っている鳥羽市立海の博物館に栄養株や花枝・種の提供しているほか、国内で唯一飼育しているジュゴンのえさとして鳥羽水族館にアマモ草体を提供しています。また、本地域のアマモの保全は、伊勢湾全域のアマモ場の維持に影響します。今後はアマモの播種活動を進めるほか、これまでにアマモを提供している各団体とも連携することで、松阪に限らず広く普及啓発できる見通しです。伊勢湾の海を守る活動にご協力いただける企業をお待ちしています。



創出者情報

創出者名: 大台町 連絡先: 大台町役場 森林課
TEL: 0598-82-3794 E-mail: shinrin@odaitown.jp
URL: https://www.odaitown.jp/soshiki/yakuba/1_1/1/435.html



カーボンクレジット概要

カーボンクレジットの種類: J-クレジット (方法論: 森林)
プロジェクト期間: 令和2年4月1日から令和10年3月31日
創出予定の総量: 13,209t-CO₂ (バッファーク含む)

創出したカーボンクレジットの紹介

- 大台町は三重県一の森林率(93%)を有しており、また町内全域が大台ヶ原・大峰山・大杉谷ユネスコエコパーク(生物圏保存地域 Biosphere Reserve)に登録されています。
- 平成16年に発生した台風21号豪雨による土砂災害の教訓から、森づくりを見直し様々な取り組みを進め、三重県で初めてJ-クレジット(旧J-VER)の創出を行いました。
- J-クレジットは町が管理する町有林約1,547haで創出しており、企業と連携した町内の森林保全活動、多様性のある森づくりを進めています。

取組状況

平成20年: 大台町苗木生産協議会を設立し地域性苗木(約130種)の生産を開始
平成22年: 東海地区初 J-クレジット(旧J-VER)の創出開始
平成25年: カーボン・マーケットEXPO2013で環境大臣賞(カーボンオフセット大賞)を受賞
平成28年: カーボン・オフセットを活用した企業の森をスタート(地域性苗木を植林)
令和4年: 一般社団法人moreTreesと企業が地域と連携した多様性のある森づくりを開始

創出地域



町有林から望む大台町内(総門山)



発芽した地域性苗木(クロモジ)



(クハリダカエデ)



(ナンゴクミネカエデ)

カーボンクレジットの活用を検討されている方へ

大台町ではユネスコエコパーク(生物圏保存地域 Biosphere Reserve)の核心地である、大台ヶ原と大杉谷の原始の森を手本とし、豊かな生態系を保全し、持続可能な自然との共生を目指した取組として、多様性のある森づくりと地域活性化を連動させた、森林保全活動(企業の森など)に取り組んでいます。ユネスコエコパークから生まれた、J-クレジットを活用し、地域性苗木と自然配植技術による、多様性のある森づくりを提案することで企業が参加する森づくりを推進しています。カーボンオフセットの取引から、森づくりなどの森林保全活動といった、新しい取組や地域連携を熟考している企業様のご参加をお待ちしております。ユネスコエコパークで多様性のある森づくりと一緒に取組んでみませんか?



創出者情報

創出者名: 松阪市
担当者連絡先: 松阪市役所 林業振興課
TEL: 0598-46-7124
E-mail: rin.div@city.matsusaka.mie.jp
URL: <https://www.city.matsusaka.mie.jp/site/kigyoyuti/jcreditagaiyou.html>

松阪市
マスコット
キャラクター
「ちゃちゃも」



カーボンクレジット概要

カーボンクレジットの種類: J-クレジット (方法論: 森林)
プロジェクト期間: 令和4年6月7日から令和13年3月31日
創出予定の総量: 25,094t-CO₂

創出したカーボンクレジットの紹介

- 松阪市は、区域面積の69%が森林(約4.3万ha)であり、そのうちの人工林率も74%と、豊富な森林資源を有しています。松阪市が取り組むJ-クレジットの特徴は、松阪市が所有する山林に加えて国の森林経営管理制度で市に管理委託を希望し、市が取り組むJ-クレジット制度に同意頂いた森林で、18年間の経営管理権集積計画を策定した民有林を加えて取り組んでいます。(全国初)
- 販売においては、市内で創出されたJ-クレジットを市内の事業者を活用してもらい、クレジットの地産地消や市内でのカーボン・オフセットを目指していることから、現在は市内に事業所を有する事業者限定して販売しています。

取組状況

令和4年10月: プロジェクト登録認定
令和6年3月: クレジット認証・取得(令和4年度分)
令和6年12月: 松阪市内13事業者にクレジット販売

創出地域



カーボンクレジットの活用を検討されている方へ

松阪市では、市内の市有林・私有林を適切に森林管理することで、その森林経営活動によって生み出されたCO₂吸収量をクレジット化し、市内に事業所を有する事業者を対象に販売しています。クレジットを購入した事業者は、自社の取組み(環境目標の達成、環境貢献PR、製品の差別化等)に生かすことができます。松阪市では、令和6年3月に初めてJ-クレジットを取得し、令和6年度より販売を開始しました。販売により得た収益は、基金へと積み立て、今後の森林整備をはじめ、松阪市の様々な事業へ使用していきます。この取り組みを通じて、CO₂の排出と吸収が地域で循環する社会の構築をめざしていきます。



創出者情報

創出者名: 尾鷲市 連絡先: 尾鷲市役所 水産農林課
TEL: 0597-23-8262 E-mail: ringyou@city.owsae.lg.jp
URL: https://www.city.owase.lg.jp/front.html

カーボンプレジット概要

カーボンプレジットの種類: J-クレジット (方法論: 森林)
プロジェクト期間: 令和5年4月1日から令和13年3月31日
創出予定の総量: 約31,000t-CO₂

創出したカーボンプレジットの紹介

- 令和4年3月の「尾鷲市ゼロカーボンシティ宣言」に伴い、J-クレジット取得に向けた取り組みを開始しました。
- 尾鷲市が所有する市有林において、人工林813ha、天然林1,228haを対象としております。
- 尾鷲市では、J-クレジットの販売収益を原資として、尾鷲市全域での森林ゾーニングマップを作成し、市全域の森林のあり方を可視化させ新たな森林整備の指針とすることや、次年度以降に認証をめざす、J-クレジット対象地のモニタリング費用・森林整備等に充てております。

取組状況

令和5年11月: プロジェクト登録申請
令和7年2月: クレジット1,221t-CO₂認証申請
令和7年10月: クレジット2,404t-CO₂認証申請

創出地域



尾鷲市有林「みんなの森」

林業と生物多様性の両立のイメージ図



カーボンプレジットの活用を検討されている方へ

現在、市有林の「みんなの森」において、上記「林業と生物多様性の両立のイメージ図」を目指し「土中環境と生物多様性」の専門家を招聘し、市内外の個人や企業・団体から参加を得て、森林整備を行っております。また、令和7年3月には企業との「尾鷲ネイチャーポジティブコンソーシアム」を設立し、産学官連携により最先端の活動を行っております。本市と一緒にネイチャーポジティブの推進に取り組んでみませんか？



創出者情報

創出者名: 中勢森林組合 連絡先: 企画課
TEL: 059-262-3020 E-mail: chusei@zvtv.ne.jp
URL: https://chusei-forest.jp/jcredit



カーボンプレジット概要

カーボンプレジットの種類: J-クレジット (方法論: 森林)
プロジェクト期間: 令和6年4月1日から令和16年3月31日
創出予定の総量: 約59,000t-CO₂

創出したカーボンプレジットの紹介

- 津市の森林は、市総面積の58.4%にあたる約41,500haで、うち98%が民有林。さらに森林所有者の90%以上が5ha未満という小規模の所有形態が特徴です。また、特に芸濃地域から美杉地域に続く西部山間地域においては古くから造林に取り組み、スギ、ヒノキ等の人工林率が市全体で82%を超える高い割合を占めています。
- 長年にわたる林業の収益性の低下は、所有者の森林経営意欲を薄れさせ、本来必要とされる手入れが行われず、放置される人工林はもはや珍しくありません。さらに世代交代が重なることで、自らの所有林の境界すらわからなくなる「忘れられた森林」は増加の一途をたどっています。こうした人工林放置は、水の供給の不安定化や自然災害リスクとなり得るなど、地域の住環境にも影響を及ぼしかねません。行政の支援により森林整備は進められているものの、十分とは言えません。なにより大切なのは、森林所有者が自らの森林に価値を見出し、守り続ける意欲を取り戻すことです。そのためには、森林の新たな価値を発掘し、持続的に管理される仕組みづくりが求められています。
- そこで中勢森林組合は、J-クレジット制度を活用した森林整備の取り組みを開始しました。中勢森林組合のJ-クレジットは、津市の森林を適切に管理することによって生み出されるCO₂吸収量です。クレジット販売の収益は次の森林整備へ再投資され、整備された森林から新たなクレジットが生み出される一その循環型の仕組みを構築します。

取組状況

令和6年11月: プロジェクト登録
(森林所有者約260名のご同意のもと、約1,580haを登録)

創出地域

津市 芸濃町河内・
美杉町八知・美杉町川上・
美杉町下多気・
美杉町下之川・一志町波瀬



カーボンプレジットの活用を検討されている方へ

中勢森林組合の強みは、長年にわたり津市の森林地域と共に築いてきた「強固なネットワーク」と、森林・林業のプロフェッショナルとしての「確かな森林管理能力」にあります。これらの強みを最大限に活かし、わたしたちは地域の森林を未来へつなぐ持続可能な森林経営に全力で取り組んでいます。このプロジェクトをより大きな循環へと発展させるためには、地域の実情をご理解いただき、取組に参加していただく企業様の存在が欠かせません。「三重の森からCO₂吸収プロジェクト」は、ご賛同いただいた企業様とともに未来の森林を育てる共同事業です。わたしたちは、地域と森林の未来をともに支えるパートナー企業を広く募集しています。挑戦はまだ始まったばかりです。ぜひ、この循環をともに育てる力となってください。



創出者情報

創出者名: 三重県 連絡先: 三重県庁 農林水産部 森林・林業経営課
TEL: 059-224-2564 E-mail: shinrin@pref.mie.lg.jp
URL: https://www.pref.mie.lg.jp/SHINRIN/HP/m0116700223.htm

カーボンクレジット概要

カーボンクレジットの種類: J-クレジット (方法論: 森林)
プロジェクト期間: 令和5年5月2日から令和14年3月31日
創出予定の総量: 8,564t-CO₂

創出したカーボンクレジットの紹介

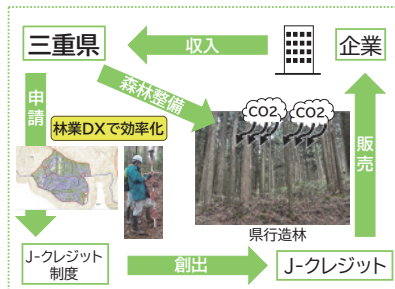
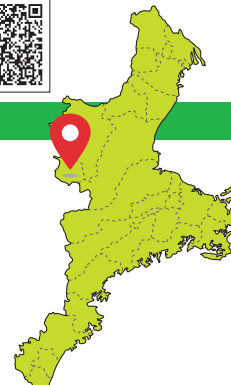
- 本取組の対象とした森林は、三重県名張市の国津地域に位置し、面積は約223haで、そのほとんどがスギ・ヒノキの人工林により構成されています。
- 対象森林は、県が樹木の植栽及び保育・管理を行う県行造林です。古いところでは、明治40年から造林を実施しており、100年の森として計画期間中、継続的な保育・管理を行っていきます。
- J-クレジットの収益を活用して森林整備を行い、長期にわたる持続可能な森林管理をめざします。

取組状況

令和6年1月: プロジェクト登録
令和7年1月: クレジット899t-CO₂創出
令和8年2月: 販売を実施

創出地域

名張市 (国津地域)



カーボンクレジットの活用を検討されている方へ

県行造林で創出したJ-クレジットを「美し国みえ森林J-クレジット」として、令和8年から販売しています。県の創出した「美し国みえ森林J-クレジット」を購入することで、一緒に三重の森林づくりに取り組みませんか？

入会
受付中

三重の自然由来カーボンクレジット活用推進に向けた連携プラットフォーム (令和6年10月11日設立)



本プラットフォームでは、三重の自然由来カーボンクレジットの活用推進に向けた普及啓発、情報発信および情報共有を実施しており、随時会員を募集しています。入会申込について詳しくは、三重県ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/m0005000109.htm>

例えば、以下の団体をご参画いただけます

- 三重の自然由来カーボンクレジット創出者:
三重の自然由来カーボンクレジットの創出、事例紹介
- 三重県森林組合連合会: 森林組合への普及啓発
- 金融機関: ネットワークのある企業・団体への普及啓発
- 学識経験者・高等教育機関: 先進事例の情報提供
- 創出・活用支援機関:
新たに三重の自然由来カーボンクレジット創出や販売方法の検討を行う、企業・団体への支援
- 関心のある企業・団体:
三重の自然由来カーボンクレジットに関心のある企業・団体
- 購入企業等: 三重の自然由来カーボンクレジットを購入した企業・団体
- 三重県: 事務局



問い合わせ

■ 三重県政策企画部企画課 (三重の自然由来カーボンクレジット活用推進に向けた連携プラットフォーム事務局)
電話: 059-224-2031 メール: kikakuk@pref.mie.lg.jp



グリーンプリンティング認定制度 (GP認定制度) とは、印刷の業界団体である「日本印刷産業連合会」の自主基準に基づいた、「印刷工場」の環境負荷低減への取組と、その工場で作られた「印刷製品」を認定する制度です。基準を満たした印刷製品には、達成水準に応じて3段階の「GPマーク (= 環境ラベル)」を付けることができます。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

発行: 令和8年3月